

施工 パッケージ

施工パッケージを積算する

施工パッケージの積算方法をご説明します。

1. 施工パッケージを積算する

「本工事費内訳書」画面にて、ツールバーの

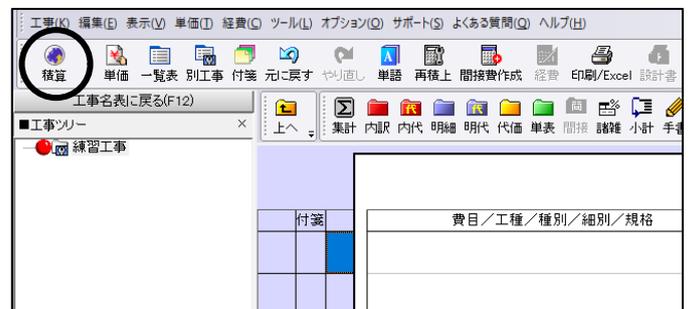


をクリックします。

「工種」画面が表示されます。



メニューバーの [単価] - [積算] でも同様です。



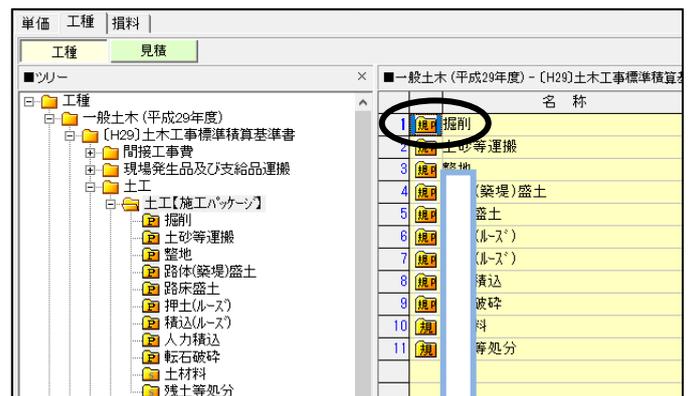
2. 自動積算を行う

工種ツリーにて施工パッケージの工種を選択し、画面右側に表示される「新規」フォルダをダブルクリックします。



「工種」画面右側にて、「名称」欄の左にある  をダブルクリックすると、選択した規格が自動で「本工事費内訳書」に挿入されます。

自動積算が開始されます。



3. 選択内容を指定する（例：掘削）

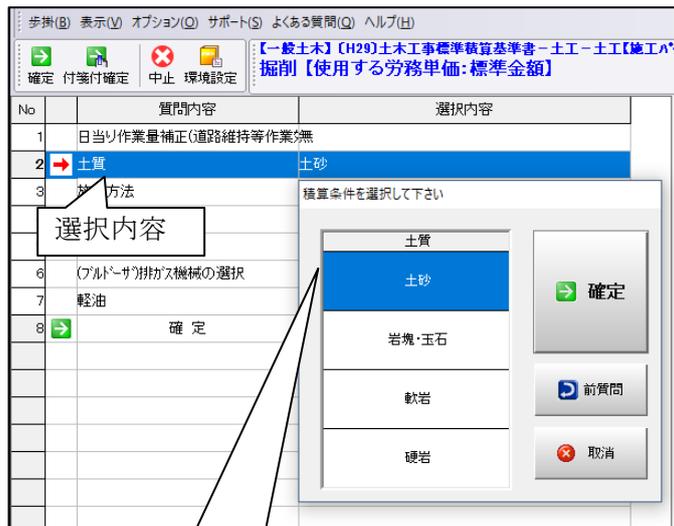
画面後ろの「選択内容」にてカーソル（→）がある項目に対する「質問表」が表示されます。「質問表」のあてはまる条件にカーソルを合わせ、[確定]をクリックします。



「質問表」のあてはまる条件にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押しても同様です。



年度、工種により選択内容は異なります。



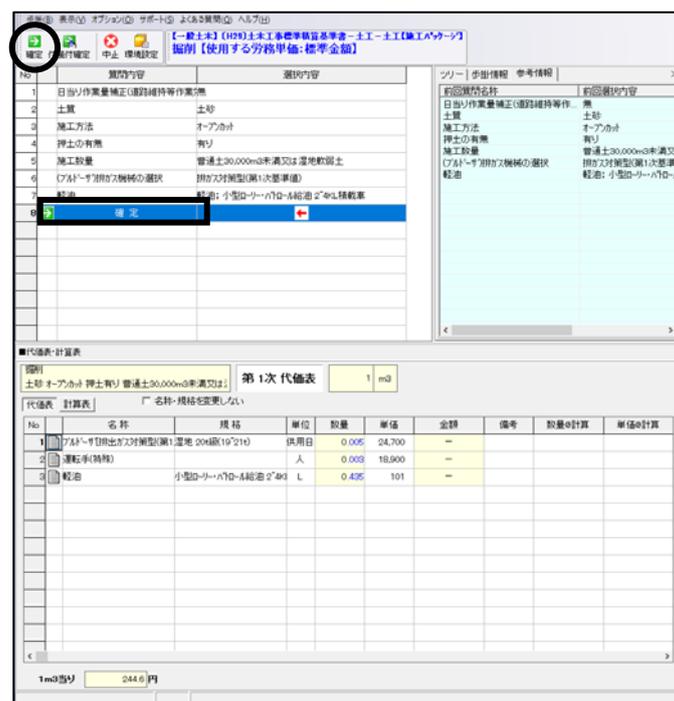
選択に対する質問表

4. 確定する

選択内容を確認し、選択した条件が正しければ、ツールバーの  をクリックします。



「選択内容」欄の [確定] にカーソルを合わせ、クリックしても同様です。



5. 数量を入力する

「本工事費内訳書」に戻ります。「数量」を入力し、[Enter] キーを押します。

本工事費内訳書				
付添	費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価
1	掘削 土砂 オフカット 押土有り 普通土30,000m3未満又は湿地軟		m3	244,600



をダブルクリックすると施工パッケージの計算根拠が表示されます。

計算根拠

積上詳細

表の付箋

掘削
土砂 オープカット 押土有り 普通土30,000m3未満

1号代価表

No	K	名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率
1	K		56.61				
2	K1	ブルドーザ [排出ガス対策型(第1次基準値)] 湿地 20t級(19~21t)	56.61	24,700	24,700	1	1
3	R		27.91				
4	R1	運転手(特殊)	27.91	22,300	18,900	1	1
5	Z		15.48				
6	Z1	軽油 小型ローリーパトロール給油 2~4KL積載車	15.48	89	101	1	1

P積算地区補正単価 = 250

$$\begin{aligned} & \times \left\{ \left(\frac{56.61}{100} \times \frac{24,700}{24,700} \right) \times \frac{56.61}{56.61} \right. \\ & + \left(\frac{27.91}{100} \times \frac{18,900}{22,300} \right) \times \frac{27.91}{27.91} \\ & + \left(\frac{15.48}{100} \times \frac{101}{89} \right) \times \frac{15.48}{15.48} \\ & \left. + \frac{100 - 56.61 - 27.91 - 15.48}{100} \right\} = 244.579636720915 = 244.6 \text{ (円/m}^3\text{)} \end{aligned}$$

参考数量は以下の計算式により算出しています。(機械の例)

参考数量 = 標準単価 * (各行の代表機労材規格の構成比) / 国交省の基準地区単価 * (分子掛率 / 分母掛率)

= P * (K1r / 100) / K1t * (分子掛率 / 分母掛率)

施工パッケージでは、単価や工種を計上しても金額は変化しません。

- 本工事費内訳書にて [表示] メニュー - [施工パッケージ] メニューで、表示する画面を [計算根拠] か [積上詳細] か選択することができます。

6. 施工パッケージの計算根拠を確認する

施工パッケージの表内容を表示した状態で「計算根拠」タブをクリックします。

- ・上段：「施工パッケージ型積算方式標準単価表」に定められている「機労材構成比」、「代表機労材規格」、「基準地区（東京地区）単価」、「積算地区単価」を確認することができます。
- ・下段：計算根拠として、「施工パッケージ型積算方式標準単価表」に定められている補正式を用いた計算内容を表示します。

計算根拠		積上詳細		1号代価表			
<input type="checkbox"/> 表の付箋		掘削 土砂 オープンカット 押土有り 普通土30,000m3未満					
No	名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率	
1	K	56.61					
2	K1 フォトボタ [排出ガス対策型(第1次基準値)] 湿地 20t級(19~21t)	56.61	24,700	24,700	1	1	
3	R	27.91					
4	R1 運転手(特殊)	27.91	22,300	18,900	1	1	
5	Z	15.48					
6	Z1 軽油 小型ローラー・バックホー給油 2~4KL積載車	15.48	89	101	1	1	

P積算地区補正単価 = 250

$$\begin{aligned} & \times \left\{ \left(\frac{56.61}{100} \times \frac{24,700}{24,700} \right) \times \frac{56.61}{56.61} \right. \\ & + \left(\frac{27.91}{100} \times \frac{18,900}{22,300} \right) \times \frac{27.91}{27.91} \\ & + \left(\frac{15.48}{100} \times \frac{101}{89} \right) \times \frac{15.48}{15.48} \\ & \left. + \frac{100 - 56.61 - 27.91 - 15.48}{100} \right\} = 244.579636720915 = 244.6 \text{ (円/m}^3\text{)} \end{aligned}$$

参考数量は以下の計算式により算出しています。（機械の例）

$$\begin{aligned} \text{参考数量} &= \text{標準単価} \times (\text{各行の代表機労材規格の構成比}) / \text{国交省の基準地区単価} \times (\text{分子掛率} / \text{分母掛率}) \\ &= \frac{P}{P} \times (K1r / 100) / K1t \times (\text{分子掛率} / \text{分母掛率}) \end{aligned}$$

コピー(P) 施工パッケージでは、単価や工種を計上しても金額は変化しません。



《制限事項・注意事項》

● 施工パッケージ表内の単価、表、その他、諸雑費行について

施工パッケージの工種を自動積算して作成された表内の単価、表、その他、諸雑費行を削除すると、施工パッケージ表の金額が正しく計算できなくなりますので、それらの行が削除されるような以下の操作は行えません。

- ・ 削除
- ・ 切り取り
- ・ 他表への移動
- ・ 表にまとめる
- ・ 表の展開

施工パッケージの工種を自動積算後に追加した単価や表などは、上記操作を行うことができます。

削除しようとした単価や表を計上したくない場合は、以下の方法で単価金額に0円を入力して下さい。

「積上詳細」タブを表示している場合：単価欄に0円を入力して下さい。

「計算根拠」タブを表示している場合：積算地区単価欄に0円を入力して下さい。

● 要素表示について

「施工パッケージ表」の金額はすべて諸雑費で設定されている要素と同じ要素で集計されます。（※通常は経費に集計されます。）

The screenshot shows a software interface with a table titled '本工事費内訳書' (Main Work Cost Breakdown) and a pie chart titled '要素率グラフ' (Element Rate Graph). The table has columns for '名称/規格' (Name/Specification), '合計' (Total), '材料費' (Material Cost), '労務費' (Labor Cost), '外注費' (Subcontractor Cost), '経費' (Overhead Cost), and '機械費' (Equipment Cost). The '合計' column for the first row is 244, and the '経費' column for the same row is also 244. The pie chart shows a single blue slice representing 100% of the total cost.

名称/規格	合計	材料費	労務費	外注費	経費	機械費
掘削 土砂 オープンカット 押土有り 普通土30.000m3未満	244				244	

● 計算根拠表の「構成比」は、すべて加算しても100にならない場合があります。

● Excel出力計算式版について

「施工パッケージ表」をExcel出力計算式版で出力する場合、施工パッケージ補正単価算出時（計算根拠式）の計算式は、Excelに組み込まれずに出力されます。施工パッケージ補正単価は、出力時にすでに計算根拠式で算出されている固定の単価です。

7. 施工パッケージの積上詳細を確認する

施工パッケージの表内容を表示した状態で「積上詳細」タブをクリックします。

- ・施工パッケージ表の「名称」「規格」「単位」「単価（積算地区単価）」の確認・編集、「参考数量」の確認を行うことができます。
- ・本工事費内訳書にて [表示] メニュー - [施工パッケージ] - [参考数量を表示する] をクリックすることにより参考数量の表示／非表示を切り替えることができます。

計算根拠		積上詳細		1号代価表		条件表	再実行	1 m3
付箋	名称 / 規格	参考数量	単位	単価	金額	摘要	備考	
1	掘削 土砂 オープカット 押土有り 普通土30,000m3未満又は湿地	0.005	供用日	24,700	-		[0101-022-200-00] [H29建設機械等指	
2	アトミタ [排出ガス対策型(第1次基準値)] 湿地 20t級 (19~21t)	0.003	人	18,900	-		[R0140] [H29-3]	
3	軽油 小型ローリー・コントロール給油 2~4KL積載車	0.435	L	101	-		[建設物価H29-08] [自動集計費目計]	
4	諸雑費		式		-			

1m3当り 244.6 円

1パッケージ当りの単価が表示されます。

パッケージ単価の小数部を単価として計上するかどうかは、施工パッケージの環境設定によります。「[施工パッケージの設定を行う](#)」をご参照下さい。



- 編集可能な箇所は背景が白、編集不可（確認のみ）の箇所は背景が黄で表示されています。
- 「施工パッケージ表」内に単価等を追加しても、施工パッケージ補正単価算出時の計算（計算根拠表、計算根拠式）には反映されません。よって施工パッケージ当り単価も変わりません。



- その他・諸雑費行について
 - ・その他・諸雑費行は、間接工事費の対象設定がされた項目の金額計算の際に必要なため、自動積算確定時および再計算時に作成されます。
 - ※その他行とは： 施工パッケージの機械費、労務費、材料費、市販単価の各々の構成比率に対する調整行
 - ※諸雑費行とは： 施工パッケージ全体の構成比率に対する調整行

4	<input type="checkbox"/>		その他（機械）		式		-		{自動集計費目計算用}
---	--------------------------	--	---------	--	---	--	---	--	-------------

- ・その他・諸雑費行の単価や単価率を訂正しても、施工パッケージ当り単価の計算には反映されません。
- ・その他・諸雑費行は、施工パッケージの計算根拠表および式には表示されません。
- ・その他・諸雑費行は、一覧表、別工事参照、数量表には表示されません。
- ・その他・諸雑費行は削除できません。



- 施工パッケージ表内の数量、数量表の数量、Excel等で外部出力される数量はあくまでも参考値です。
- 参考数量の計算は、環境設定によって異なります。
「[施工パッケージの設定を行う](#)」をご参照下さい。

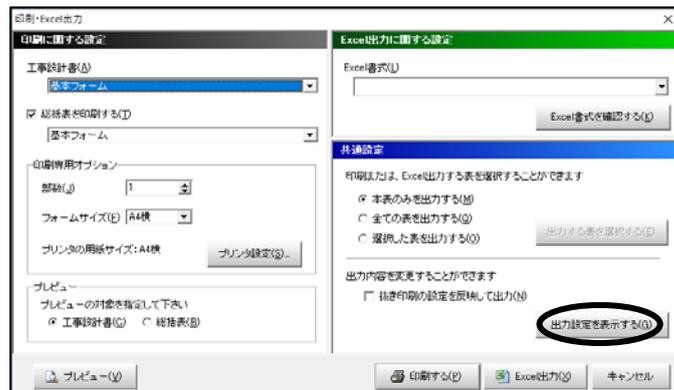
8. 施工パッケージの印刷

施工パッケージ表の印刷に関する設定は、「印刷・Excel 出力」画面の「出力設定を表示する」をクリックして表示される「印刷・Excel 出力設定」画面にて行うことができます。

「本工事費内訳書」画面にて、

ツールバーの  をクリックします。

「印刷・Excel 出力」画面が表示されますので、「出力設定を表示する」をクリックします。



「印刷・Excel 出力設定」画面が表示されます。

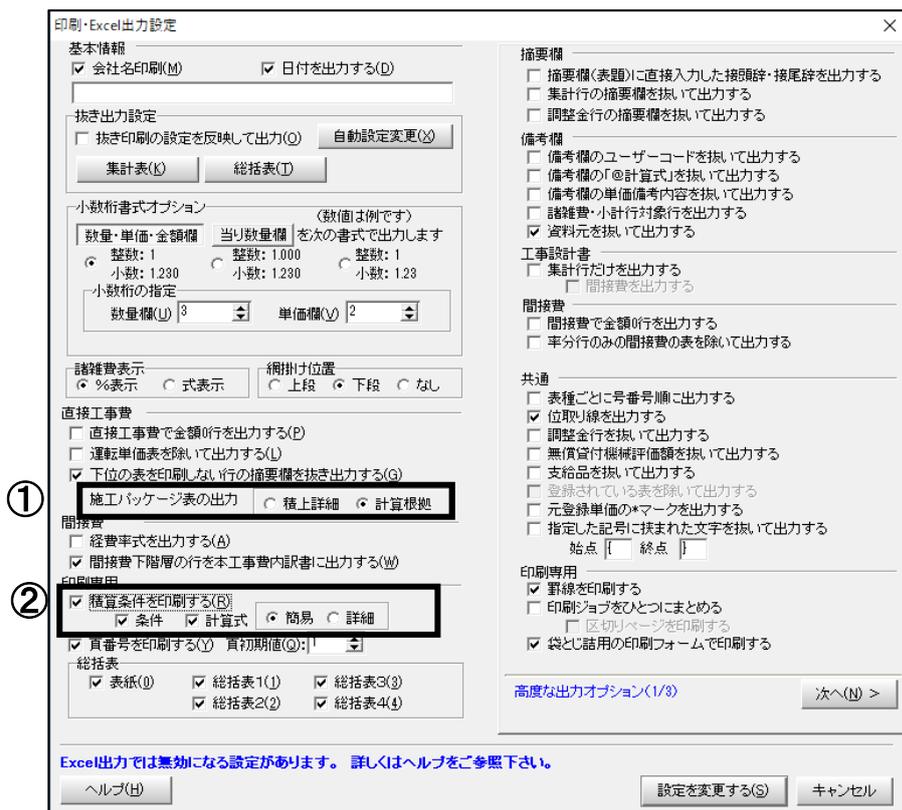
■「高度な出力オプション (1/3)」での設定

①施工パッケージ表の出力

施工パッケージ表の積上詳細と計算根拠のどちらを出力するか選択することができます。

②積算条件を印刷する

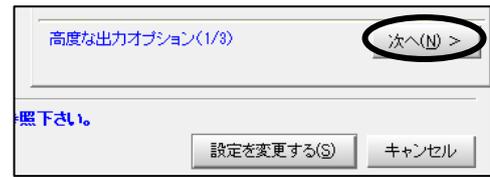
「積算条件を印刷する」にチェックを付けると、施工パッケージ表の「積上詳細」の出力で、機械・労務・材料・市場単価の参考数量も出力します。



「積算条件を印刷する」にチェックが入っていても、「条件」、または「計算式」にチェックが入っていない場合は、参考数量が印刷されません。



「高度な出力オプション (1/3)」の横の
 [次へ] をクリックすると、
 「高度な出力オプション (2/3)」を表示します。
 「高度な出力オプション (2/3)」の横の
 [次へ] をクリックすると、
 「高度な出力オプション (3/3)」を表示します。



■ 「高度な出力オプション (3/3)」での設定

- ③ 施工パッケージ表を除いて出力する
 チェックを付けると、
 施工パッケージ表と
 その下階層の表を出力しません。



施工 パッケージ

施工パッケージ計算根拠表

計上された施工パッケージ表の内訳を表示、編集することができます。

1. 計算根拠表を表示する

施工パッケージの表内容を表示した状態で、「計算根拠」タブをクリックします。

計算根拠		積上詳細		1号代価表			
No	名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率	
1	K	56.61					
2	K1 フルトーサ [排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地 20t級(19~21t)]	56.61	24,700	24,700	1	1	
3	R	27.91					
4	K1 運転手(特殊)	27.91	22,900	19,900	1	1	
5	Z	15.40					
6	Z1 軽油 小型ディーゼルエンジン 2000cc	15.40	89	101	1	1	

2. 各項目を編集する

- ① 「施工パッケージ計算根拠表」にて、編集したい項目にカーソルを合わせ、ダブルクリックすると入力できます。



カーソルを合わせ、[Enter] キーを押しても同様です。

ここでは例として構成比の値を 56.61 から 56.6 に変更します。

計算根拠		積上詳細	
No	名称 / 規格	構成比	基準地区単価
1	K	56.61	
2	K1 フルトーサ [排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地 20t級(19~21t)]	56.61	24,700
3	R	27.91	

- ② 項目を入力し、[Enter] キーを押すと、確定されます。



「施工パッケージ計算根拠」内の項目で編集できるのは、「構成比」「基準地区単価」「積算地区単価」「分子掛率」「分母掛率」です。

計算根拠		積上詳細	
No	名称 / 規格	構成比	基準地区単価
1	K	56.61	
2	K1 フルトーサ [排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地 20t級(19~21t)]	56.6	24,700
3	R	27.91	



● 計算根拠表の「積算地区単価」を編集することにより、積上詳細画面の「単価」に値が反映されます。

※ 積上詳細画面の単価を編集した場合、計算根拠表の「積算地区単価」に値が反映されます。

・ 計算根拠表

No		名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率
1	K		56.61				
2	K1	ブルドーザー【排出ガス対策型(第1次基準値)】 湿地 20t級(19~21t)	56.61	24,700	24,700		1

・ 積上詳細画面

1		ブルドーザー【排出ガス対策型(第1次基準値)】 湿地 20t級(19~21t)		0.005	供用日	24,700
---	--	--	--	-------	-----	--------

● 計算根拠表の「積算地区単価」は、積上詳細画面の「単価」と同様に単価率の変更が可能です。

2	K1	ブルドーザー【排出ガス対策型(第1次基準値)】 湿地 20t級(19~21t)	56.61	24,700	24,700	1
---	----	--	-------	--------	--------	---

● 計算根拠表での「K」は「機械費」、「R」は「労務費」、「Z」は「材料費」、「S」は「市場単価」を表しています。



●計算根拠表の「分子掛率・分母掛率」について

※実際の例（ブルドーザ、運転手）

- ・計算根拠表の①「分子掛率」、②「分母掛率」を修正することによって、計算式の途中で掛率を掛けることができます。

計算根拠 積上詳細

付箋メモ 振刷
土砂 オープンカット 押土有り 普通土30,000m3未満

1号代価表 ① 条件表 再実行 ②

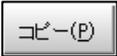
No	名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率
1	K	56.61				
2	K1 フルトーザ【排出ガス対策型(第1次基準値)】 湿地 20t級(19~21t)	56.61	24,700	24,700	2	3
3	R	27.91				
4	R1 運転手(特殊)	27.91	22,300	18,900	2	1
5	Z	15.48				
6	Z1 軽油 小型ロータリーバックホウ給油 2~4KL積載車	15.48	89	101	1	1

P積算地区補正単価 = 250

$$\begin{aligned} & \times \left\{ \left(\frac{56.61}{100} \times \frac{24,700}{24,700} \times \frac{2}{3} \right) \times \frac{56.61}{56.61} \right. \\ & + \left(\frac{27.91}{100} \times \frac{18,900}{22,300} \times \frac{2}{1} \right) \times \frac{27.91}{27.91} \\ & + \left(\frac{15.48}{100} \times \frac{101}{89} \right) \times \frac{15.48}{15.48} \\ & \left. + \frac{100 - 56.61 - 27.91 - 15.48}{100} \right\} = 256.54129591374 = 256.6 \text{ (円/m}^3\text{)} \end{aligned}$$

- ・分母が「1」の場合、計算式では分子掛率のみ表示されます。
また、分子掛率と分母掛率の両方が「1」の場合、計算式には掛率が表示されません。

4. 計算根拠をコピーする

画面左下部の  をクリックします。

施工パッケージ計算根拠がクリップボードにコピーされますので、Excel 等へ貼り付けてご利用下さい。

施工 パッケージ

施工パッケージの設定を行う

施工パッケージ表に関する設定を行います。

施工パッケージ表についての設定は、「■工事別環境設定」画面の[施工パッケージ]にて行います。

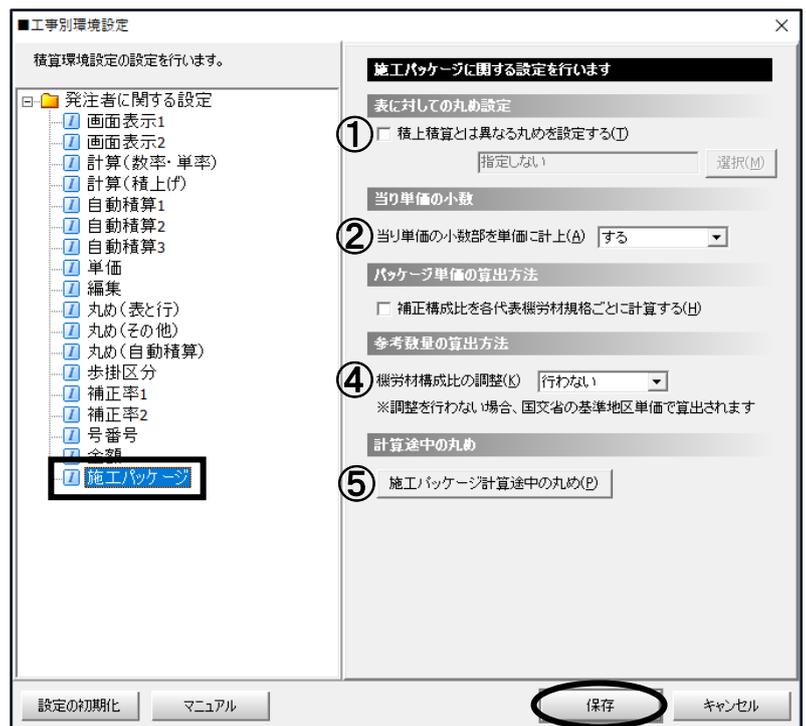
「■工事別環境設定」画面は、「本工事費内訳書」画面にて、メニューバーの[オプション] - [工事別環境設定] をクリックすると表示されます。

1. 施工パッケージに関する設定をする

画面左側ツリーより、「施工パッケージ」を選択します。

画面右側に表示される各項目を設定し、[保存] をクリックします。

変更内容が反映され、「本工事費内訳書」画面に戻ります。



[キャンセル] をクリックした場合、または [保存] を押さずに画面を閉じた場合は、変更内容が保存されません。「工事別環境設定」画面を開いた時の設定内容に戻ります。

■表に対しての丸め設定

①積上積算とは異なる丸めを設定する

「積上積算とは異なる丸めを設定する」にチェックを付けると、施工パッケージ表のみに掛かる丸めを選択することができます。

チェックがない場合は、「丸め（表と行）」の「表に対しての丸め設定」が使用されます。

■当り単価の小数

②当り単価の小数部を単価に計上

施工パッケージ表の「当り単価」欄に小数部の値を表示する／しないの設定ができます。

■パッケージ単価の算出方法

③補正構成比を各代表機労材規格ごとに計算する

「補正構成比を各代表機労材規格ごとに計算する」にチェックを付けると、補正構成比を各代表機労材規格ごとに計算します。

・チェックあり

$$\text{パッケージ単価}(P) = P \times \left\{ \begin{aligned} & K1r \times \frac{K1t'}{K1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \times \frac{K_r}{K1r + \dots + K3r} + \dots + K3r \times \frac{K3t'}{K3t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \times \frac{K_r}{K1r + \dots + K3r} \\ & + R1r \times \frac{R1t'}{R1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \times \frac{R_r}{R1r + \dots + R4r} + \dots + R4r \times \frac{R4t'}{R4t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \times \frac{R_r}{R1r + \dots + R4r} \\ & + Z1r \times \frac{Z1t'}{Z1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \times \frac{Z_r}{Z1r + \dots + Z4r} + \dots + Z4r \times \frac{Z4t'}{Z4t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \times \frac{Z_r}{Z1r + \dots + Z4r} \\ & + Sr \times \frac{St'}{St} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \\ & + (100 - Kr - Rr - Zr - Sr) \end{aligned} \right\} \div 100$$

各規格ごとに補正構成比を計算します。

・チェックなし

$$\text{パッケージ単価}(P) = P \times \left\{ \begin{aligned} & \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} + \dots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \right] \times \frac{K_r}{K1r + \dots + K3r} \\ & + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} + \dots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \right] \times \frac{R_r}{R1r + \dots + R4r} \\ & + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} + \dots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \right] \times \frac{Z_r}{Z1r + \dots + Z4r} \\ & + \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \\ & + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100} \end{aligned} \right\}$$

補正構成比は全体に対して掛けます。

■参考数量の算出方法

④機労材構成比の調整

参考数量の算出に機労材構成比の調整を行うかどうかを設定できます。

・行う

$$\text{参考数量} = \frac{\text{標準単価} \times (\text{各行の代表機労材規格の構成比}) \times (\text{構成比の端数調整})}{\text{基準地区単価} \times (\text{分子掛率} \div \text{分母掛率})}$$

(機械の例)

$$\text{参考数量} = P \times \frac{K1r}{100} \times \frac{Kr}{K1r + \dots + K3r} \div K1t \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}}$$

例) コンクリートポンプ車

$$0.017 = 30850 * (2.64 / 100) * (2.72 / 2.64) / 47400 * (1 / 1)$$

参考数量	:	0.017	
標準単価	:	P	(例 30850)
コンクリートポンプ車の構成比	:	K1r	(例 2.64)
機械費全体の構成比	:	Kr	(例 2.72)
コンクリートポンプ車の基準地区単価	:	K1t	(例 47400)
分子掛率	:	分子掛率	(例 1)
分母掛率	:	分母掛率	(例 1)

・行わない

$$\text{参考数量} = \frac{\text{標準単価} \times (\text{各行の代表機労材規格の構成比})}{\text{国交省の基準地区単価} \times (\text{分子掛率} \div \text{分母掛率})}$$

(機械の例)

$$\text{参考数量} = P \times \frac{K1r}{100} \div K1t \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}}$$

例) コンクリートポンプ車

$$0.017 = 30850 * (2.64 / 100) / 47000 * (1 / 1)$$

参考数量	:	0.017	
標準単価	:	P	(例 30850)
コンクリートポンプ車の構成比	:	K1r	(例 2.64)
コンクリートポンプ車の国交省の基準地区単価	:	K1t	(例 47000)
分子掛率	:	分子掛率	(例 1)
分母掛率	:	分母掛率	(例 1)

※調整を行わない場合、国交省の基準地区単価で算出されます。

国交省の基準地区単価は、印刷設定で「積算条件を出力する」にチェックを付けている場合に、パッケージ表に付随して出力される参考数量で確認することができます。

※国交省の基準地区単価で計算されるのは参考数量のみです。

その他の部分については、この設定にかかわらず、基準地区単価で計算されます。

■ 計算途中の丸め

⑤ 施工パッケージ計算途中の丸め

施工パッケージの計算途中で、各箇所に丸めを掛けることができます。

[施工パッケージ計算途中の丸め] をクリックすると、下図の画面が開きます。

施工パッケージ計算途中の丸め設定

パッケージ単価計算途中の丸め | その他の計算途中の丸め

パッケージ単価計算途中の丸めを設定できます。

丸め対象の計算式	丸め
1 基準単価×全体補正率	指定しない
2 全体補正率	指定しない
3 機械全体補正率	指定しない
4 労務全体補正率	指定しない
5 材料全体補正率	指定しない
6 市場単価全体補正率	指定しない
7 概労材補正率の調整	指定しない
8 各機械補正率	指定しない
9 各労務補正率	指定しない
10 各材料補正率	指定しない

$$\begin{aligned}
 \text{パッケージ単価}(P) = & P \times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} + \dots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \right] \times \frac{Kr}{K1r + \dots + K3r} \right. \\
 & + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} + \dots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \right] \times \frac{Rr}{R1r + \dots + R4r} \\
 & + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} + \dots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + \dots + Z4r} \\
 & + \left[\frac{S1r}{100} \times \frac{S1t'}{S1t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} + \dots + \frac{S4r}{100} \times \frac{S4t'}{S4t} \times \frac{\text{分子掛率}}{\text{分母掛率}} \right] \times \frac{Sr}{S1r + \dots + S4r} \\
 & \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100} \right\}
 \end{aligned}$$

OK キャンセル

- ・「パッケージ単価計算途中の丸め」タブ
画面上側にて丸めを選択すると、パッケージ単価計算のどの部分に掛かる丸めなのかが、画面下側の図に赤枠で表示されます。
- ・「その他の計算途中の丸め」タブ
参考数量、構成比率、自動集計される金額や支給品に関わる計算中の丸めを選択することができます。
※「その他の計算途中の丸め」の画面では、画面下側に図は表示されません。